

ミツワ興業 株式会社

DX宣言書

2025年3月21日
ミツワ興業 株式会社
代表取締役 吉原 一博

□ 経営理念(企業理念)

全社員の物心両面の幸福を追求し
お客様に安全を第一に最高の技術とサービスを提供し
企業価値を高め社会の進歩発展に貢献します

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用し、業務の効率化を推進することで、業務負担を軽減するとともに社員が本来の業務に集中できる体制を構築します
- ◆ データを活用した迅速な意思決定を可能にすることで、社会の変化へ柔軟に対応できる組織づくりを行います

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年9月)

戦略 「現状把握と課題整理」

- 施策
- ・ 現在の業務で作業負担がかかっている箇所等の課題を特定するため、業務の流れを可視化
 - ・ 解決すべき課題を一覧にして、外部専門家からの協力も得ながら取り組みの優先度を設定
 - ・ 日報のデジタル化および勤怠管理の簡素化に向けて、業務負担が軽減できる最適なシステムを選定
 - ・ ボーリング調査データの検索性を高める等、データを活用しやすくするためのデジタル化方針を策定

➤ フェーズ2(2025年10月 ～ 2027年3月)

戦略 「DX基盤の整備と業務プロセスの最適化」

- 施策
- ・ フェーズ1にて整理した取り組みを実行するとともに、選定したシステムを段階的に導入
 - ・ 日報のデジタル化を行い、データ入力の手記作業等、管理業務の効率化を推進
 - ・ 請求業務の効率化に向けて、電子請求書発行システムの導入等、請求書発行プロセスの簡略化を検討
 - ・ 必要な情報へスピーディーにアクセスできる環境を整え、データに基づいた確かな意思決定を実現
 - ・ 導入したシステム定着化のため、説明会の開催や利用マニュアルの整備等を行いサポート体制を構築

➤ フェーズ3(2027年4月 ～ 2028年3月)

戦略 「DXの定着と社員が安心して働ける組織づくり」

- 施策
- ・ 社内のデジタル活用力を高めるため、デジタル技術を活用した業務改善の内製化を推進
 - ・ リアルタイムで情報を収集・分析できる環境を整備し、市場の変化やニーズへ柔軟に対応できる体制を構築
 - ・ 社員が安心して働き続けられる環境を整えるため、ウェアラブルデバイスを支給する等、健康管理を会社がサポートする仕組みを整備

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 紙の使用量 : 2025年度比 20%削減(～2028年3月)
- ・ 有給休暇取得率 : 80%以上(～2028年3月)
- ・ CCUS※レベル3取得率 : 10%以上(～2028年3月)

※CCUS:技能者の保有資格・社会保険加入状況や現場の就業履歴などを業界横断的に登録・蓄積して活用する仕組み